

2026年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	作業療法評価法 I	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	月曜・1限
担当教員	伊藤 大貴				
授業概要	高次脳機能とは、その人らしい生活を送るうえで重要な機能です。脳血管疾患により生じる高次脳機能障害は、動作獲得をするうえで大きな障害因子となりやすく、適切に評価し介入することが患者様の予後に大きく関わります。また、臨床実習において関わる事が多い障害です。そのため、①各症状に対して理解をすること、②適切に評価すること、③障害に合わせた介入が提案できるようになることが、OTとして必要な能力です。この授業を通して、それらを習得できるようにしていきましょう。				
学習目標	①高次脳機能障害とは何か自身の言葉で説明できる。 ②各障害の症状を簡単に説明できる。 ③各障害に対する評価法を適切に選択し、実践できる。 ④各障害に対する治療方法を提案できる。				
回数					担当教員
1回目	高次脳機能障害とは 総論 多職種連携と作業療法士の役割について P3-37				伊藤 大貴
2回目	注意障害の概要について P41-43				伊藤 大貴
3回目	注意障害の概要と評価(実技)について① P44.45				伊藤 大貴
4回目	注意障害の概要と評価(実技)について② P44.45				伊藤 大貴
5回目	注意障害の治療について P46 164-172				伊藤 大貴
6回目	記憶障害の概要(定義と分類、メカニズムについて) P50-53		※単元テスト①		伊藤 大貴
7回目	記憶障害の評価(実技)について P54.55				伊藤 大貴
8回目	記憶障害の評価(実技)と治療の原則について① P56-60 P173-180				伊藤 大貴
9回目	記憶障害の評価(実技)と治療の原則について② P56-60 P173-180				伊藤 大貴
10回目	失語の概要と評価方法について P61-72		※単元テスト②		伊藤 大貴
11回目	失語の治療方法について P72-75 181-188				伊藤 大貴
12回目	失行の定義と分類について P76-81				伊藤 大貴
13回目	失行の評価技法について P82-84				伊藤 大貴
14回目	失行の治療原則について P85.86 P189-196				伊藤 大貴
15回目	まとめ				伊藤 大貴
教科書及び参考書	標準作業療法学 高次脳機能作業療法学(第3版)/医学書院 高次脳機能障害作業療法学(第2版)/メジカルビュー社 適宜、プリント等を配布する。				
成績評価	単元テスト①②(各20%ずつ) 期末試験(60%) 欠席は3点、遅刻は1点減点 1回目～5回目までを単元テスト①、6回目～9回目までを単元テスト②で出題します。単元テストは再試を行いません。本試で高得点を取れるよう事前準備しましょう。期末テストは全範囲ですが、単元テストと授業内でポイントとして伝えた部分を中心に試験する予定です。多授業内で理解しきれない部分は授業外でも質問や相談をしてください。分からないことをそのままにせず、その日のうちに理解できるように行動しましょう。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
単元テストは授業でポイントとして伝えた部分、期末テストは全範囲ですが、出題するのは授業内でキーワードとして伝えた部分を中心に試験する予定です。高次脳機能障害は理解しにくいことも多いと思います。シラバスで指定した範囲を事前に読み、予習をすることを推奨します。また、復習をしても理解が難しい時には、授業内だけでなく、授業外でも質問や相談をしてください。分からないことをそのままにすると、次々と新しい障害に触れることになり、混濁しやすいです。ファイルを事前に準備してください。授業内で配布する評価用紙や参考資料は実習に向けてファイリングしていき、すぐに使用できるように準備しておきましょう。理解を深め、OTとして自信をもって患者様に対応できるように備えていきましょう。					

2026年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	地域リハビリテーション学	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	月曜・2限
担当教員	石田 敦子				
授業概要	病気やケガで入院している患者さんに後遺症や障害が残ってしまったら、その人は退院後どのように生活していくのでしょうか。これらの患者さんたちに対して作業療法士は専門家チームの一員となって地域で支援します。この授業を通して、地域で安心して生活できるように支える仕組みが分かるようになります。地域には乳児から高齢者、障害者など様々な人が生活しています。将来、自分自身が作業療法士として活躍したい分野が見つかるかもしれません。				
学習目標	①地域で活動する作業療法士の役割を説明することができる ②地域対象者へ行う支援方法について自分の意見を持ち、議論することができる ③地域ボランティアを通して地域が抱えている問題点に気づくことができる				
回数					担当教員
1回目	地域作業療法の概要、地域包括ケアシステム p. 1-15、22-23				石田 敦子
2回目	地域作業療法に必要な制度および連携の知識 p. 17-40				石田 敦子
3回目	リスク管理 p.41-58 単元テスト(p.1-40)				石田 敦子
4回目	介護予防と作業療法 p. 129-162				石田 敦子
5回目	介護予防プログラムの立案①				石田 敦子
6回目	介護予防プログラムの立案②				石田 敦子
7回目	介護予防プログラムの立案③				石田 敦子
8回目	介護予防プログラム発表				石田 敦子
9回目	訪問作業療法 p. 59-76				石田 敦子
10回目	通所系作業療法 p. 77-108				石田 敦子
11回目	就労支援における作業療法① p. 191-210				石田 敦子
12回目	就労支援における作業療法② p. 191-210				石田 敦子
13回目	学校・子どもの地域作業療法 p. 163-190				石田 敦子
14回目	発表準備(自分がなりたい作業療法士と地域との結びつきについて)				石田 敦子
15回目	地域作業療法についての発表				石田 敦子
教科書及び参考書	作業療法学講座 地域作業療法学 医歯薬出版 その他随時、プリント等の配布を行う。				
成績評価	単元テスト20% 発表30%(プログラム20%、まとめの発表10%) 定期テスト50% 欠席3点、遅刻は1点減点				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>疾患や障害を持った患者さんが、施設や病院に入ることなく自宅で生活を送るためにはどうすればよいでしょうか。この授業では、患者さんたちが自宅で自分らしく生活を営むための制度や支援の仕組みを勉強していきます。また、地域で作業療法士が実際にどのような介入を行っているのかを勉強し、自分だったらどのように支援や訓練を行っていくかをイメージしていきましょう。前半で法律や保険制度を学んだあと、中盤以降は地域のOTの働き方について頭と身体を使って楽しく学びたいと思っています。</p> <p>介護予防プログラムとして、集団体操を考案してもらおう予定です。「続けたい」と思ってもらえるようなプログラムをぜひ考えてほしいと思います。また、終盤では、この授業を通して、自分がなりたい作業療法士像がどのような形で地域と結びついていくのか、どのように地域に働きかけていきたいのか、といった展望を話してもらいたいと思っています。</p> <p>質問などがあれば、授業前後の時間や放課後を活用してください。</p>					

2026年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	基礎作業学Ⅱ	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	月曜・3,4限目
担当教員	村谷 澄哉				
授業概要	本講義では、作業を行う際に用いる脳の働きを知り、脳との関連も考えながら作業実習を実施します。作業実習では、身近なものを用い、より臨床にて実施しやすいアクティビティを中心に実施します。各作業実習では、実施における作業療法治療効果と、効果的な実施方法について学びます。				
学習目標	① 作業時に用いる脳の部位と効果について説明できる。 ② むり絵、革細工、陶芸の概要と技法について説明と実施ができる。 ③ 各アクティビティの治療効果を説明できる。				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション 作業と脳の関連について				村谷 澄哉
2回目	むり絵作業の歴史と脳の働き(P.108-111) 作業実習 むり絵(実技体験)				村谷 澄哉
3回目	むり絵作業の特性(P.112-115)				村谷 澄哉
4回目	革細工 作品作成				村谷 澄哉
5回目	革細工(実技) 革裁断、デザイン				村谷 澄哉
6回目	革細工(実技) スタンピング・カービング技法①				村谷 澄哉
7回目	革細工(実技) スタンピング・カービング技法②				村谷 澄哉
8回目	革細工(実技) 染色				村谷 澄哉
9回目	革細工(実技) 裏面処理				村谷 澄哉
10回目	革細工(実技) 仕立ての基本について(レース編みと手縫い)				村谷 澄哉
11回目	革細工(実技) 仕立て①				村谷 澄哉
12回目	革細工(実技) 仕立て②				村谷 澄哉
13回目	革細工(実技) ホック打ち 仕上げ				村谷 澄哉
14回目	革細工 各期(急性期・回復期・維持期)における治療的効果について				村谷 澄哉
15回目	陶芸 基礎(講義)				村谷 澄哉
16回目	陶芸(実技) 湯呑づくり				村谷 澄哉
17回目	陶芸(実技) 湯呑づくり				村谷 澄哉
18回目	陶芸(実技) 湯呑づくり				村谷 澄哉
19回目	陶芸(実技) 自由な作品作り				村谷 澄哉
20回目	陶芸(実技) 自由な作品作り				村谷 澄哉
21回目	陶芸(実技) 自由な作品作り				村谷 澄哉
22回目	陶芸 治療効果について				村谷 澄哉
23回目	症例検討				村谷 澄哉
24回目	症例検討				村谷 澄哉
25回目	症例検討				村谷 澄哉
26回目	症例検討				村谷 澄哉
27回目	症例検討				村谷 澄哉
28回目	症例検討				村谷 澄哉
29回目	症例発表				村谷 澄哉
30回目	まとめ				村谷 澄哉
教科書及び参考書	作業療法学ゴールドマスターテキスト 作業学/MEDICAL VIEW 随時、プリントを配付します。				
成績評価	レポート20%、期末試験 80% ※欠席は3点、遅刻は1点減点とする。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>今回の講義では、むり絵、革細工、陶芸を学び、実際に作品を作ることで技術の習得を目指します。皆さんは作業療法士として、対象者に作業の説明をしたり、実施のサポートを行います。作業療法をスムーズに導入する為に必要となる技術ですので修得を目指してください。新しい作業に挑戦するときにはできるかどうか心配になることもあるかもしれませんが、まずは作業療法士自身が作業を知り、作業を楽しめることも大切な構成要素となります。楽しみながら、作業の活用方法を一緒に考えていきましょう。</p> <p>各アクティビティ毎にどのような治療効果があるか、実施の際の注意点等をまとめてもらいます。作業を体験した時の自分の経験を言語化していきましょう。</p>					

<h1 style="margin: 0;">心理学実験(3560)</h1>		<h2 style="margin: 0;">武野 全恵</h2>		併修科目・必修
				2年
				OT火曜3・4限
ねらい	本講義は、実験心理学に対する基礎的知識について解説を挟みながら、原則演習形式で展開する。実際には、実験に関連する現象や理論について説明した後、さらなる知見を得るために実施する実験の方法、計画について説明を行う。実験方法及び実験計画について理解したうえで、実験の結果についてディスカッションを行い予測を立てたうえで、実験を実施し、その結果について結果予測を踏まえて考察を行う。このような演習構成により研究の背景、方法、結果、考察の流れを理解させる。			
教科書・資料	別指定のテキストを使用する他、参考資料も配付する。テキストは毎授業持参すること。			
設 題	レポ ー ト 1  (ポイント)	心理学実験法についてまとめ、自分の問題意識に沿った実験のテーマや方法について考察せよ		清書  4月21日(火)
	レポ ー ト 2  (ポイント)	日常生活や社会問題に貢献する実験心理学研究について考察せよ		清書  6月23日(火)
	科目終了試験	学修のポイント2 実験の利点と欠点について 学修のポイント4 記憶における符号化と検索について(関連する実験を含めて)		科目終了試験7月21日(火) 実施予定
	期 末 試 験 ・ ス ク ー リ ン グ 修 了 試 験	詳細は、後日発表		
1	イントロダクション・実験とは何か・心理学実験法について			【もちもの】教科書
2	設題1 3200字レポートの清書作成 (4月21日(火)提出)			
3	【実験1】			【もちもの】教科書、はさみ
4	錯覚について・結果予測・実験実施・考察			
5	【実験2】			【もちもの】教科書、宿題プリント、設題1清書
6	他者の存在による作業量について・結果予測・実験実施・考察			
7	【実験3】			【もちもの】教科書
8	動機づけについて・実験実施・結果予測・解説・考察			
9	実験の利点と欠点			【もちもの】教科書
10	学修のポイント2 1200字レポート作成 (5月19日(火)提出)			
11	【実験4】			【もちもの】教科書、ペン、段ボールを切るもの、1200字レポ
12	学習の転移について・実験実施・結果予測・解説・考察			
13	【実験5】 符号化と検索について・結果予測・実験実施・解説・考察			【もちもの】教科書
14	学修のポイント4 1200字レポート作成 (6月2日(火)提出)			
15	【実験6】			【もちもの】教科書、メジャー、マスキングテープ、1200字レポ
16	パーソナル・スペースについて説明・結果予測・解説・考察			
17	日常生活や社会問題に関連する研究の紹介			【もちもの】教科書
18	設題2 3200字レポートの清書作成 (6月23日(火)提出)			
19	【質問紙調査】			【もちもの】教科書
20	質問紙作成についての説明・構成概念の選択・質問項目の作成			
21	【質問紙調査】			【もちもの】教科書、質問紙関連の資料、設題2清書
22	論文の検索について説明・妥当性検討のための論文探し・結果予測			
23	【質問紙調査】			【もちもの】教科書、質問紙関連の資料
24	質問紙作成・質問紙調査の実施			
25	【質問紙調査】			【もちもの】教科書、質問紙関連の資料
26	データの集計・分析のやり方説明・集計			
27	【質問紙調査】			【もちもの】教科書、質問紙関連の資料
28	データの分析・結果についてディスカッション・考察			
29	テストの準備とまとめ			
30	科目終了試験			
	期末テスト			
成績 評価	出席率	30点 80% 以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。		
	期末試験	45点 持ち込み:可、論述式		
	授業内評価	15点 実験やディスカッションへの参加などの授業態度を踏まえて評価を行う。 10点 レポートなどの提出状況を踏まえて評価を行う。		
備 考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。  グループ単位でディスカッションを行ったり、実験を行ったりする場面が多く、周りの人との協力が必要となる授業です。そのため、メンバーに迷惑がかからないようできるだけ出席するように心がけてください。また、欠席するとその回は態度の評価ができませんので、授業態度点も減点となります。そのため、できるだけ欠席をしないよう体調管理等に気を付けてください。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。また、進度によってはシラバスと内容が変更となる可能性があります。			

2026年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	人間関係学	授業 形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	水曜・1限
担当教員	村谷 澄哉				
授業概要	作業療法士は相手と会話する際に、相手の言葉や仕草を観察しながら自分の言動をコントロールしています。この授業では、自分と相手の双方について分析する方法を学び、体験することで、相手との関係性作りを習得していきます。特に自分自身の考え方や振る舞い方を理解することで、自分が相手に与える影響を把握できるようになってください。授業で習得したことを日常生活や臨床現場で活かしていきましょう。				
学習目標	① 自分についての理解を深め、人と関わる上での自己成長課題を明らかにする。 ② コミュニケーションについての基本的知識を説明できる。 ③ 人間関係を円滑に築くためのストローク技術や聴き方、伝え方を実践できる。				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション 自分を知る、他者から見た自分(P.12-33)			村谷 澄哉	
2回目	自分の態度、人間の心を理解する(P.33-52)			村谷 澄哉	
3回目	対人コミュニケーション分析(P.53-61)			村谷 澄哉	
4回目	人間関係の基本「ストローク」(P.62-69)			村谷 澄哉	
5回目	コミュニケーションの基本的知識、相手を知るための観察のしかた(P.70-88)			村谷 澄哉	
6回目	実技試験①			村谷 澄哉	
7回目	よい聴き手になるための聴きかた(P.88-96)			村谷 澄哉	
8回目	伝わる伝えかた(P.97-105)			村谷 澄哉	
9回目	自分も相手も大切にしたい伝えかた(P.105-115)			村谷 澄哉	
10回目	医療面接(P.183~192)			村谷 澄哉	
11回目	質問の仕方(P.193~197)			村谷 澄哉	
12回目	実技試験②			村谷 澄哉	
13回目	自己管理(感情管理)(P.126-135)			村谷 澄哉	
14回目	「話す」技術～話題と会話～			村谷 澄哉	
15回目	「聴く」技術～傾聴～ まとめ			村谷 澄哉	
教科書及び参考書	PT・OT・STのためのコミュニケーション実践ガイド 第3版/医学書院				
成績評価	実技試験40% 期末試験60% 欠席は3点、遅刻は1点減点とする				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
実習で「なんかうまく話ができなかったな、」、「会話がすぐ終わっちゃった」などの経験をしませませんでしたか？僕も学生の頃は何を話したらいいのかわかりませんでした。実習だけではなく、人間関係はアルバイトや仕事でも悩むものだと思います。この講義では、臨床や日常生活でも意識すれば人間関係を円滑に進めることができるような講義を行います。私生活、実習での経験と照らし合わせながら受講していただくとイメージが付きやすいと思います！					

教育・学校心理学(3570)		橋本景子		併修科目・必修	
				OT2年	
				水曜2限	
授業のねらい	子どもを教育していく上で必要となる知識を身につけ、子どもの成長を促すためのより良い教育とは何かを心理学的視点から探求する。また現実の教育現場で起きている問題への応用を考える。よく言われる言葉、「子どもに生きる力をつけさせる」とはいったい何が「生きる力」なのか。子どもにとって本当に望ましい教育とは何かを考え、そのためには教師はどうあるべきか、ディスカッションや講義を通して考えていく。教育の四領域である発達、学習、パーソナリティ、測定・評価というものを本当に理解するには、私たち自身が考えられる人間であり、視野の広い人間でなければならない。事例を基に、私たち自身が教えられたことをただ学ぶのではなく、学んだらそこから「自分で再考する力」を身につけていくことが大切である。				
	教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。			
設 題	レポート 1	子どもの「個人差」について述べよ。	清書	5月13日(水)	
	(ポイント)	発達・知能・パーソナリティ・遺伝と環境など様々な角度から考察すること			
	レポート 2	子どもの「不適応行動」について述べよ。	清書	7月15日(水)	
	(ポイント)	不登校・無気力・非行など、事例を挙げながら何故そのような行動をとるのか、テキストだけでなく参考文献等も参考にして考察すること			
	科目終了試験	学修のポイント2.環境から学ぶことについて 学修のポイント3.レディネスの概念について		科目終了試験7月22日(水) 実施予定	
期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表				
1	教育心理学とは？				
2	自分の受けてきた教育を振り返る AR1				
3	設題1 子どもの個人差について/レポート指導				
4	第3章 やる気を高める/記憶/学習のメカニズム AR2				
5	ある校長先生の新しい取り組みについて考える (DVD) AR3				
6	point2:環境から学ぶことについて① ディスカッション/社会性を育む				
7	point2:環境から学ぶことについて② 各グループ発表				
8	子どもの不適応とストレス/レディネスの概念について	pp. 192-193	AR4	*point2 提出	
9	子どもの不適応とストレス	pp. 194-198 pp. 201-202			
10	ICDとDSMについて	pp. 202-211	AR5	*point3 提出	
11	発達を規定する要因 pp. 24-34				
12	設題2 子どもの不適応行動について/レポート指導				
13	「ホームエデュケーション」から教育について考える				
14	フェイクニュースを見破る力をつけるには何が大切か ディスカッション				
15	科目終了試験				
	期末試験				
成績評価	出席率	30点 80% 以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。			
	期末試験	30点 持ち込み:不可、論述式			
	授業内評価	40点 提出物の状況(期限内提出)各5点×4=20点、アクティブ・リコール5点×4=20点			
備考	授業中にレポート等を作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、期限内に提出すること。レポートに関する講義に欠席をすると大変困ることになります。				
	レポート・学修のポイントの厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

2026年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	情報処理・統計学	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	水曜・3限
担当教員	石田 敦子				
授業概要	データを基にしたエビデンスのある作業療法評価・治療を行うため、データの種類やその読み方・書き方を学習する。さらに、データ分析手法を理解し、実用的に使用できるようになり、研究法の授業へ役立てられるようにする。根拠に基づくOTを提供する為の基礎となる保健統計について学び、研究成果を発信するための分析ができるようになる。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. データの種類に応じて図表を読み書きすることができる。</li> <li>2. 2群間の差や相関について適切な検定手法を選択し実施できる。</li> <li>3. 検定結果についてExcelを使用して出力することができる。</li> <li>4. 習得した統計学的分析を利用した文献を読むことができる</li> </ol>				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション 情報処理の基礎 パソコン習熟度の確認				石田 敦子
2回目	作業療法士に必要な情報リテラシー、EBMの概要				石田 敦子
3回目	Excel基礎(表作成・基本関数・並び替え)				石田 敦子
4回目	データの種類と代表値				石田 敦子
5回目	表と図の利用、代表的な確率分布 パフォーマンステスト				石田 敦子
6回目	相関と回帰				石田 敦子
7回目	推定と検定				石田 敦子
8回目	順序があるデータの検定				石田 敦子
9回目	分類されたデータの検定				石田 敦子
10回目	文献検索法と文献の読み方、引用文献の書き方 単元テスト				石田 敦子
11回目	文献調査① 統計内容解釈				石田 敦子
12回目	文献調査② スライド作成				石田 敦子
13回目	文献発表会①				石田 敦子
14回目	文献発表会②				石田 敦子
15回目	まとめ				石田 敦子
教科書及び参考書	随時、プリント等の配布を行う。				
成績評価	パフォーマンステスト10% 単元テスト20% 文献発表10% 定期テスト 60% 欠席3点、遅刻は1点減点				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>情報処理の分野では社会情勢のグラフやプロの書いた論文の読み取りができることを目標にしています。統計学の分野では、患者さん同士のROMの平均値やそのばらつき、治療効果があったかどうか、年齢とROMには関係があるかというところまで計算して見極める練習をしていきます。「計算」はパソコンソフトが行ってくれるので、パソコンにどんな計算をさせたいのかということ自分で判断し、その計算結果を読む練習をしていきましょう。3年生になると研究法の授業の中で情報処理・統計学を生かしていくこととなります。しっかり理解して3年生につないでください。</p> <p>単元テストは4回目～9回目の範囲を出題し、期末テストは1回目～9回目を出題範囲とします。文献発表会では文献を探し、クラスメイトに分かりやすく発表してもらいます。分からないところなどがあれば、なるべく早めに解決するため質問してください。質問は授業前後の時間や放課後を活用してください。</p>					

## 2026年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	整形外科学	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	水曜・4限
担当教員	武上泰光				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整形外科疾患の自然経過、検査、診断、治療、等についての基本的事項について理解する。</li> <li>・整形外科で実際行われていること、どこまで治せて、患者さんの希望に答えているか、等について学習しよう。</li> <li>・医療に携わる側の考えと、患者さん側の要望がどのようなものであるかについて考えてみよう。</li> <li>・教科書に沿って進めていきますが、国試に出ている事項も重要です。</li> </ul>				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・骨の基本的な構造、形成過程、造血やカルシウムの貯蔵といった機能があること、などを説明できる。</li> <li>・骨はいつも形成と吸収が行なわれ、新陳代謝して、ホルモンの影響も受けていることを説明できる。</li> <li>・骨折後の骨癒合、骨の加齢変性、骨粗鬆症、リモデリングなどについて説明できる。</li> <li>・脊椎は加齢によって椎間板の変性、骨棘の形成などがおき、脊髄や神経根を圧迫することを説明できる。</li> <li>・整形外科の多くの重要疾患(先天股脱、大腿骨頭壊死、OPLL、脳性麻痺、…)について簡潔に説明できる。</li> </ul>				
回数					担当教員
1回目	整形外科基礎知識:整形外科とは何か、骨の形成、構造、について。P2~8				武上泰光
2回目	整形外科基礎知識:関節の構造、筋、神経の機能、解剖など。P9~20				武上泰光
3回目	運動器の評価および検査法:整形外科での診察、評価、検査などについて。P23~42				武上泰光
4回目	整形外科の治療法:保存療法と手術療法。治療の限界など。P44~57				武上泰光
5回目	整形外科の炎症性疾患。骨髄炎とは。結核も重要疾患です。P61~71				武上泰光
6回目	代謝性疾患、内分泌疾患:全身状態の骨への影響。練習問題1。P75~81				武上泰光
7回目	練習問題の続き、中間テスト①				武上泰光
8回目	先天性骨・関節疾患:先天性股関節脱臼、先天性疾患など。P84~89				武上泰光
9回目	循環障害と壊死性疾患、骨軟部腫瘍:血行の重要性、骨腫瘍について概説。P90~103				武上泰光
10回目	神経筋疾患:脳性麻痺。筋ジストロフィー等について。P104~109				武上泰光
11回目	脊椎の疾患:頸椎、胸椎、腰椎など、脊椎の疾患。P111~123				武上泰光
12回目	骨折:骨折の治癒過程。骨折総論、各論。P127~145				武上泰光
13回目	脊髄損傷、関節、末梢神経における外傷性疾患:脊髄損傷など。練習問題2。P149~171				武上泰光
14回目	練習問題の続き、中間テスト②				武上泰光
15回目	腱、靭帯における外傷性疾患、スポーツ外傷、切断、離断:腱、靭帯の損傷。P173~200				武上泰光
教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学シリーズ、整形外科学				
成績評価	中間テスト40%(2回(第7回と第14回)行ないます)、期末試験60%				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・6、7回目と13、14回目で練習問題とそれをもとにした中間テストを実施します。</li> <li>・ADLとも関連が深く、リハビリを行なうにあたっては運動器についての整形外科の知識は重要であると思います。</li> <li>・医療だけでなく、福祉の分野でもリハビリの役割は重要です。外傷などの整形外科系の疾患、脳血管障害、認知症などの神経系の疾患の2つはリハビリの中心課題です。</li> <li>・日本でも欧米並みに福祉に対する社会全体の理解が今後も徐々に深まっていくと思います。リハビリは世界中で行なわれている重要な仕事なのです。</li> </ul>					

社会・集団・家族心理学 (社会・集団) (科目コード:3630)		新實千恵里		併修科目・必修	
				2年	
				OT木曜1限	
授業のねらい	社会心理学の研究対象は、「社会的認知」、「社会的影響」、「対人行動と対人相互作用」、「個人と集団」、「マス」などの多岐にわたる。本講義では、実験や調査データに基づきながら、社会心理学について学び、対人関係や集団における人の意識・態度と行動についての心の過程について考え、日常生活における自己や他者を理解するための視点を獲得することを目的とする。				
教科書・資料	テキストは使用せず、その都度資料を配布する。				
設 題	レポート 1	個人が他者や集団から受ける影響について述べよ。	清書	5月28日(木)	
	(ポイント)	態度変化や行動変化のきっかけとなる、他者の影響(説得、勢力、服従など)や、集団の影響(同様、多数派や少数派、集団意思決定など)に関わる社会心理学の研究知見を基に論ずること。			
	レポート 2	集団間葛藤について述べよ。	清書	6月25日(木)	
	(ポイント)	集団間葛藤が生じる理由を、現実葛藤理論や社会的アイデンティティ理論を基に説明するとともに、集団間葛藤の解消方法についても論ずること。			
	科目終了試験	学修のポイント1: 対人認知に影響を及ぼす様々な要因について 学修のポイント3: マスコミュニケーションが情報の受け手に与える影響について		科目終了試験7月16日(木) 実施予定	
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表			
1	オリエンテーション&学修ポイント1 対人認知と印象形成				
2	学修ポイント1 対人認知の歪み、プロセスモデル、個人差				
3	学修ポイント1 レポート作成(※日:4月16日)				
4	設題1 他者からの影響(態度、勢力、服従、説得)				
5	設題1 集団からの影響(同調、少数派、集団意思決定、社会的影響)				
6	設題1 レポート作成				
7	学修ポイント2・4を含む1と設題1の振り返り				
8	設題2 集団間葛藤が生じる理由(現実葛藤理論、社会的アイデンティティ理論、他)[レ1※日]				
9	設題2 集団間葛藤の解消方法(上位目標、集団間接触仮説)				
10	設題2 レポート作成				
11	学修ポイント3 メディアの影響の仕組み(議題設定理論、プライミング効果、他)				
12	学修ポイント3 情報の受け手の心理的要因(沈黙の螺旋、第三者効果、他)[レ2※日]				
13	学修ポイント3 レポート作成(※日:7月2日)				
14	学修ポイント5を含む3と設題2の振り返り				
15	科目終了試験				
	期末テスト				
成 績 評 価	出席率	30点 80%以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。			
	期末試験	30点 持ち込み:可、論述式			
	授業内評価	20点 提出物: 締め日厳守:4つ提出物×5点=20点 20点 授業態度: グループワークの積極的参加 評価表の記入 その他態度			
備 考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。 レポート・学修のポイントの※は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

2026年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	日常生活動作学	授業形態	講義・ <b>演習</b> ・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	木曜・2限
担当教員	伊藤 大貴				
授業概要	日常生活動作(ADL)の支援は作業療法士が対象とする作業の中でも余暇や生産活動と並んで、非常に重要な部分です。どれだけ趣味ができて、常に身の回りの事を助けてもらっている、本人並びに介護する人々が十分に満足いくリハビリテーションとはなりません。その為、各疾患のADL支援を理解し実践できるようになることが重要です。本講義ではそれらについて演習も踏まえながら進めていきます。				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>各疾患の特徴を理解し、自身の言葉で簡単に説明できる</li> <li>作業療法士がおこなう評価を実践できる</li> <li>各疾患特性に応じたADL支援を実践できる</li> </ul>				
回数				担当教員	
1回目	オリエンテーション 脊髄損傷四肢麻痺 疾患・機能障害の概要 P96～103			伊藤 大貴	
2回目	脊髄損傷四肢麻痺 起居・移乗・移動① P104～119			伊藤 大貴	
3回目	脊髄損傷四肢麻痺 起居・移乗・移動② P120～134			伊藤 大貴	
4回目	脊髄損傷四肢麻痺 食事 排泄 更衣 P135～146			伊藤 大貴	
5回目	脊髄損傷四肢麻痺 整容 入浴 スイッチ操作 P147～154			伊藤 大貴	
6回目	脊髄損傷四肢麻痺 住宅改修 自動車 P155～P159			伊藤 大貴	
7回目	脊髄損傷対麻痺 疾患・機能障害の概要とADL① P160～P173			伊藤 大貴	
8回目	まとめ1			※単元テスト①	
9回目	パーキンソン病の概要とADL支援 P174～192			伊藤 大貴	
10回目	脳性麻痺の概要とADL支援 P221～233			伊藤 大貴	
11回目	脊椎疾患の概要とADL支援 P234～244			伊藤 大貴	
12回目	呼吸器疾患・心疾患の概要とADL支援 P244～271			伊藤 大貴	
13回目	人工関節置換術の概要と支援(基本動作) P286～292			伊藤 大貴	
14回目	人工関節置換術(ADL動作)・下肢骨折の概要とADL支援 P293～300			伊藤 大貴	
15回目	まとめ2			※単元テスト②	
教科書及び参考書	テキスト① PT・OTビジュアルテキストADL 第2版 羊土社				
成績評価	<p>単元テスト①②(各20%ずつ) 期末試験(60%) 欠席は3点、遅刻は1点減点                      1回目～7回目までを単元テスト①、9回目～14回目をで出題します。単元テストは再試を行いません。本試で高得点を取れるよう事前準備しましょう。期末テストは全範囲ですが、単元テストと授業内でポイントとして伝えた部分を中心に                      出題する予定です。多数の疾患に対するADL支援方法を学びます。そのため、授業内で理解しきれない部分は授業外でも質問や相談をしてください。分からないことをそのままにせず、その日のうちに理解できるように行動しましょう。</p>				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>予習ではシラバスで指定した範囲の教科書を事前に読み、自身で重要だと思った部分にアンダーラインを引いてください。その後、授業でアンダーラインを引くよう指示された部分と整合性を確かめることで、効率よく知識として定着します。復習では、各疾患の学習ポイントについて自身の言葉でまとめる事や、授業内でアンダーラインを引いたり、空欄補充を行った部分を中心に                      見直すと良いです。                      臨床実習においては、各疾患の評価をおこない、機能に合わせたADL支援をおこなう技術は必須です。この授業を通して疾患別ADLに関する技術を獲得し、自信を持って臨床実習に望めるように精進しましょう。</p>					

精神疾患とその治療(5210)		平石太一		併修科目・必修	
				2年	
				OT金曜2限	
授業のねらい	精神医学は、こころの病の学問であるが、最近急速に脳科学との関連性が解明されてきている。その一方で、精神医学を理解するためには、人やこころの理解、人間社会についての知識も不可欠である。患者の生育歴、生活環境、人間関係、心理状態、文化風習など、さまざまな側面を切り離しては、病の本質が見えてこない。本科目では、精神疾患やこころの在り方の分析・治療の基本を学ぶ。まず脳神経細胞の生理的理論を知り、次に精神医学の概念として疾患の成因や分類について学ぶ。そして代表的な精神疾患である器質性精神障害・認知症・アルコールや薬物による精神や行動の障害・統合失調症・気分障害・神経症性障害などについての知識を獲得し、精神疾患総論(代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む)、向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化、医療機関との連携について理解する。				
教科書・資料	適宜資料を配布する				
設 題	レポート 1 (ポイント)	統合失調症の症状、病因、治療、対応(個別での対応、地域での対応、地域精神医療も含む)について述べよ。	清書	6月5日(金)	
	レポート 2 (ポイント)	統合失調症の頻度、発症年齢、症状、薬物療法、リハビリテーションについて述べた上で、日本のこれまでの精神医療の歴史を踏まえ、現在の地域精神医療における対応、支援にも言及する。			
	レポート 2 (ポイント)	気分(感情)障害及び神経症性障害について、それぞれの種類、症状、成因、治療、対応について述べよ。	清書	6月12日(金)	
	レポート 2 (ポイント)	気分(感情)障害(うつ病、躁病、双極性障害)および神経症性障害(不安障害、パニック障害、強迫性障害、PTSD、解離性障害、身体表現性障害)についてそれぞれの症状、成因、治療を中心にまとめる。			
	科目終了試験	学修のポイント1 統合失調症について 学修のポイント2 気分(感情)障害について		科目終了試験7月17日(金) 実施予定	
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表			
1	精神医学の歴史・概念・診断、病院精神医療と地域精神医療				
2	統合失調症①				
3	統合失調症②				
4	気分障害①				
5	気分障害②				
6	神経症性障害、ストレス関連性障害および身体表現性障害①				
7	神経症性障害、ストレス関連性障害および身体表現性障害②				
8	統合失調症・気分障害等の復習				
9	成人のパーソナリティおよび行動の障害				
10	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群				
11	知的障害、心理的発達障害等の障害等				
12	器質性精神障害、神経系の疾患				
13	精神作用物質使用による精神および行動の障害・精神疾患の治療				
14	まとめ				
15	科目終了試験				
	期末テスト				
成績評価	出席率	30点 80% 以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。			
	期末試験	50点 持ち込み:可、論述式			
	授業内評価	20点 提出状況、授業態度を考慮して加算する。			
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。				
	レポート・学修のポイントのメッチは厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることであれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

2026年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	内科学	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	金曜・4限
担当教員	磯村 毅				
授業概要	理学療法士・作業療法士としてチーム医療を担う基礎となる内科学について学ぶ。 循環器・呼吸器をはじめとする主要臓器および分野を網羅的に学ぶ。 内科学は、全身管理のかなめであり、小児科・産婦人科・整形外科・精神科などの専門分野の基礎となる側面も備えている。				
学習目標	チーム医療の一員として内科学で扱う重要疾患についてその概要を説明できる。 リハビリの専門家として、患者やその家族に、内科学で扱う重要疾患についてわかりやすく説明できる。 (上記を学習目標とする理由:医療機関では多職種が情報交換しながら仕事をすすめるが、その共通言語として、病名をはじめとする多数の専門用語が用いられる。こうした基礎知識なしにはチームの一員として適切に機能することは困難であるばかりか、様々な行き違いが起こり医療事故にもつながりかねない。 しかし、内科学で扱う基本的な事項を身につければ、それだけでもチームから信頼されるきっかけとなる)				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション				磯村 毅
2回目	循環器疾患 虚血性心疾患、心不全、不整脈、先天性心疾患、弁膜症など				磯村 毅
3回目	呼吸器疾患 各種肺炎、COPD、気管支喘息、結核、気胸、結核、突発性間質性肺炎など				磯村 毅
4回目	消化器疾患 急性胃炎、胃十二指腸潰瘍、胃がん、腸閉そく、大腸がんなど				磯村 毅
5回目	肝胆膵疾患 ウイルス性肝炎、肝硬変、肝臓がん、胆石、膵炎、膵がんなど				磯村 毅
6回目	腎疾患 急性腎不全、慢性腎不全、慢性腎臓病、急性糸球体腎炎など				磯村 毅
7回目	内分泌疾患 先端肥大症、尿崩症、バセドウ病、クッシング症候群、褐色細胞腫など				磯村 毅
8回目	代謝 1型糖尿病、II型糖尿病、二次性糖尿病、痛風、骨粗しょう症など				磯村 毅
9回目	アレルギー 気管支喘息、アナフィラキシーショック、アトピー性皮膚炎など				磯村 毅
10回目	血液 鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、急性白血病、慢性骨髄性白血病など				磯村 毅
11回目	感染症 緑膿菌感染症、带状疱疹、カンジダ、アスペルギルス症など				磯村 毅
12回目	中毒・環境要因 急性アルコール中毒、一酸化中毒、高山病、スマホ依存など				磯村 毅
13回目	皮膚 アトピー性皮膚炎、接触性皮膚炎、皮膚カンジダ症など				磯村 毅
14回目	まとめ1(栄養・救急救命含む)				磯村 毅
15回目	まとめ2				磯村 毅
教科書及び参考書	リハビリテーションテキスト 内科学 (MEDICAL VIEW)				
成績評価	テスト(60%)とレポート(40%)で評価をします。(※5回目ぐらいにレポート提出を課します。)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>予習復習をしっかりとすること。いろんなことに興味を持ち、積極的に学ぶこと。          私個人を振り返っても、若い時代の1日1日は、本当に貴重であった。良い意味でも悪い意味でも、本当にそうである。          諸君は、幸い、目指す目標が明確で社会貢献の方法も分かり易い分野を学ぶ学生である。          脳は25歳まで、成長を続けるという。諸君らはもはや一人前、これ以上成長の余地は乏しいと感じているかもしれないが(私もそうであった)、今から思うと、その後の伸びしろはまだまだ大きなものがあつた。特に、コミュニケーション能力や、人格的な部分はこれからである。そう考えて、課題図書なども選んでみた。          大いに、泣いて笑って、青春を謳歌していただきたい。それらすべてが、職業人としての諸君らの血となり肉となるであろうから。応援している。</p>					